

平成26事業年度

決 算 報 告 書

自：平成26年4月 1日

至：平成27年3月31日

国立大学法人九州大学

平成26年度 決算報告書

国立大学法人九州大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	44,288	46,958	2,670	(注1)
うち総合特区推進国立大学法人運営費 交付金の追加	1,751	1,751	—	
施設整備費補助金	14,769	12,797	△1,971	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	5,718	10,833	5,114	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	107	107	—	
自己収入	48,022	53,416	5,394	
授業料、入学料及び検定料収入	10,566	10,429	△136	(注4)
附属病院収入	36,507	40,156	3,649	(注5)
財産処分収入	437	417	△19	(注6)
雑収入	511	2,412	1,900	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	12,894	15,753	2,858	(注8)
引当金取崩	156	175	19	(注9)
長期借入金収入	9,123	9,035	△88	(注10)
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	101	160	58	(注11)
計	135,180	149,237	14,056	
支出				
業務費	86,651	92,063	5,411	(注12)
教育研究経費	49,481	51,678	2,197	
うちグリーンアジア国際戦略総合特区事業	1,751	1,751	—	
診療経費	37,170	40,384	3,213	
施設整備費	24,436	20,595	△3,840	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	5,718	9,386	3,668	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	12,894	15,437	2,542	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	5,479	5,428	△51	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	135,180	142,911	7,730	
収入-支出	—	6,326	6,326	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった前年度からの繰越額を計上したこと及び追加配分事項があったこと等により、予算額に比して決算額が2,670百万円多額となっています。
- (注2) 事業の一部を翌年度へ繰越したこと等により予算額に比して決算額が1,971百万円少額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が5,114百万円多額となっています。
- (注4) 授業料徴収対象者数の減による授業料収入の減少等により、予算額に比して決算額が136百万円少額となっています。
- (注5) 診療実績の増加等により、予算額に比して決算額が3,649百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階で予定していた土地を売却したが、一部収納日が翌年度となったことにより、予算額に比して決算額が19百万円少額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国際交流会館(香椎浜)移転等補償費を計上したこと及び施設使用料の増収等により、予算額に比して決算額が1,900百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が2,858百万円多額となっています。
- (注9) 賞与引当金対象者の増加等により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっています。
- (注10) 契約努力に伴う事業費の一部削減により、予算額に比して決算額が88百万円少額となっています。
- (注11) 事業実施時期を変更したことにより、予算額に比して決算額が58百万円多額となっています。
- (注12) (注1)及び(注7)に示した理由等により教育研究費の決算額が2,197百万円多額となっています。また、診療実績の増加に伴い診療経費が増加したことにより、予算額に比して決算額が3,213百万円多額となっています。
- (注13) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,840百万円少額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,668百万円多額となっています。
- (注15) (注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,542百万円多額となっています。